

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

商業振興事業

産業振興課

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興: 農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 商工業者、商店街団体等

意図 商店街団体が設置・管理する共同施設についての支援や商工業者・商店街団体等の独創的な取組についての支援を行い、中小商業の振興を図るため。

効果 地域活性化の源となる商工業者や商店街を支援することにより、活力あるまちの創出が図れる。

【事業の内容】

- (1) 商業振興共同施設助成事業
 - ・ 商店街団体が設置・管理する共同施設の整備に対して支援を行った。
- (2) 新規活性化事業
 - ・ 商工業者や商店街団体等が持つ独創的な事業計画の実施に対して支援を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

産業振興計画の推進(6-2-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,294	3,909	3,089		820

主な支出内訳

- ・ 商業振興共同施設助成事業
 - 商業振興共同施設設置費補助金 1,079
- ・ 新規活性化事業
 - 商工業元気up事業選考委員会委員謝礼 10
 - 商工業元気up事業費補助金 2,000

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-26 商業振興事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	380	商業振興共同施設助成事業				
		1331	新規活性化事業				
		1348	新規活性化事業				
主管課	産業振興課		関連課				
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	快適で魅力的な商店街施設整備を支援する。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	3,089千円	2,994千円	3,496千円	事務事業の内容 ①共同施設設置費補助 ②商工業元気up事業 (19年度)		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	3,089千円	2,994千円	3,496千円			
	人員配置数	0.3人	0.3人	0.1人			
	人件費	2,886千円	2,862千円	913千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	5,975千円	5,856千円	4,409千円			
	市民1人当 りの経費	34円	33円	25円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
商店街会員数	×	目標値	2,300	2,300	2,300		
		実績値	2,159	2,134			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
1店舗あたり経費(商店街 振興事業費÷会員数)	△	目標値	15,597円	15,597円	14,128円		
		実績値	16,615円	13,734円			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
商工業元気up事業応募 数	◎	目標値		8	10		
		実績値	6	8			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・商店街の解散により放置された商店街街路灯について、地元自治会が引き取る可能性がなくなったため、できるだけ早く撤去する必要があるが、撤去費用の問題がある。 ・商工業元気up事業において、商店街部門への応募がなかった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・放置された商店街街路灯については、商店街の元役員との協議により、元の商店街が撤去することになり、問題解決した。 ・商工業元気up事業の商店街部門については、各商店街への応募呼びかけにも関わらず応募なしに終わったため、20年度をもってこの部門を廃止し、代わりに、空き店舗出店事業費補助制度を創設した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・商店街の衰退は全国的な問題であり、本市においても駅周辺など一部を除き、多くの商店街が厳しい状況にある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・地域社会と共存する商店街づくりを目指し、高齢社会対応バリアフリー化や、安全安心実現のための施設整備を支援する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	商店街街路灯を維持管理することが財政的に厳しくなっている商店街もあることから、街路灯の老朽化の状況や商店街の財政状況を注視し、必要な支援を行っていく。				
担当課長氏名:		磯崎 勇次			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	快適で安全安心な商店街の施設整備を支援する。				
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子		